

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年03月16日

計画の名称	新富士駅における交通結節点の機能向上と快適な駅前広場の創出（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～平成30年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	富士市												
計画の目標	新富士駅は、富士市南部に位置するJR東海道新幹線と公共交通機関の結節駅であり、岳南広域都市圏（富士市・富士宮市）の玄関口として、交通手段相互の乗換え等に欠かすことのできない中心的役割を担ってきた。また、特定旅客施設となる新富士駅（1日あたり乗降客数約9,600人）は、駅舎内のバリアフリー化はもちろんのこと、駅周辺地区交通バリアフリー基本構想に基づき、駅舎と周辺施設を結ぶ特定経路をバリアフリー化している。しかしながら、駅前広場については、バス乗降場等がバリアフリー化されておらず、障害者・高齢者を始めとする利用者の乗降等に支障をきたしているほか、近年の社会情勢の変化等に起因して駅前広場の利用状況にも変化が生じたことで、広場内で渋滞が発生し、円滑な通行に支障をきたしている。当該区域の整備により、歩行者の移動円滑化や自動車交通の円滑化を図ることで、交通結節機能の強化及び安全・快適な空間形成を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	215	A	215	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)
1	・新富士駅周辺地区交通バリアフリー基本構想内重点整備地区内におけるバリアフリー化に対応するバス乗降場の数を増やす 新富士駅周辺地区交通バリアフリー基本構想内重点整備地区内におけるバリアフリー化に対応するバス乗降場数	1箇所	箇所	6箇所
2	・新富士駅北口駅前広場の一般車駐車場における駐車待ち渋滞発生回数を減少させる。 新富士駅北口駅前広場の一般車駐車場における駐車待ち渋滞発生回数	7回	回	0回

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H29	H30	H31	H32	H33			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	富士市	直接	富士市	S街路	改築	都市計画道路 田子浦伝 法線 (駅前広場)	駅前広場 A=8,000㎡	富士市	■	■				215		—
											小計						215		
											合計						215		

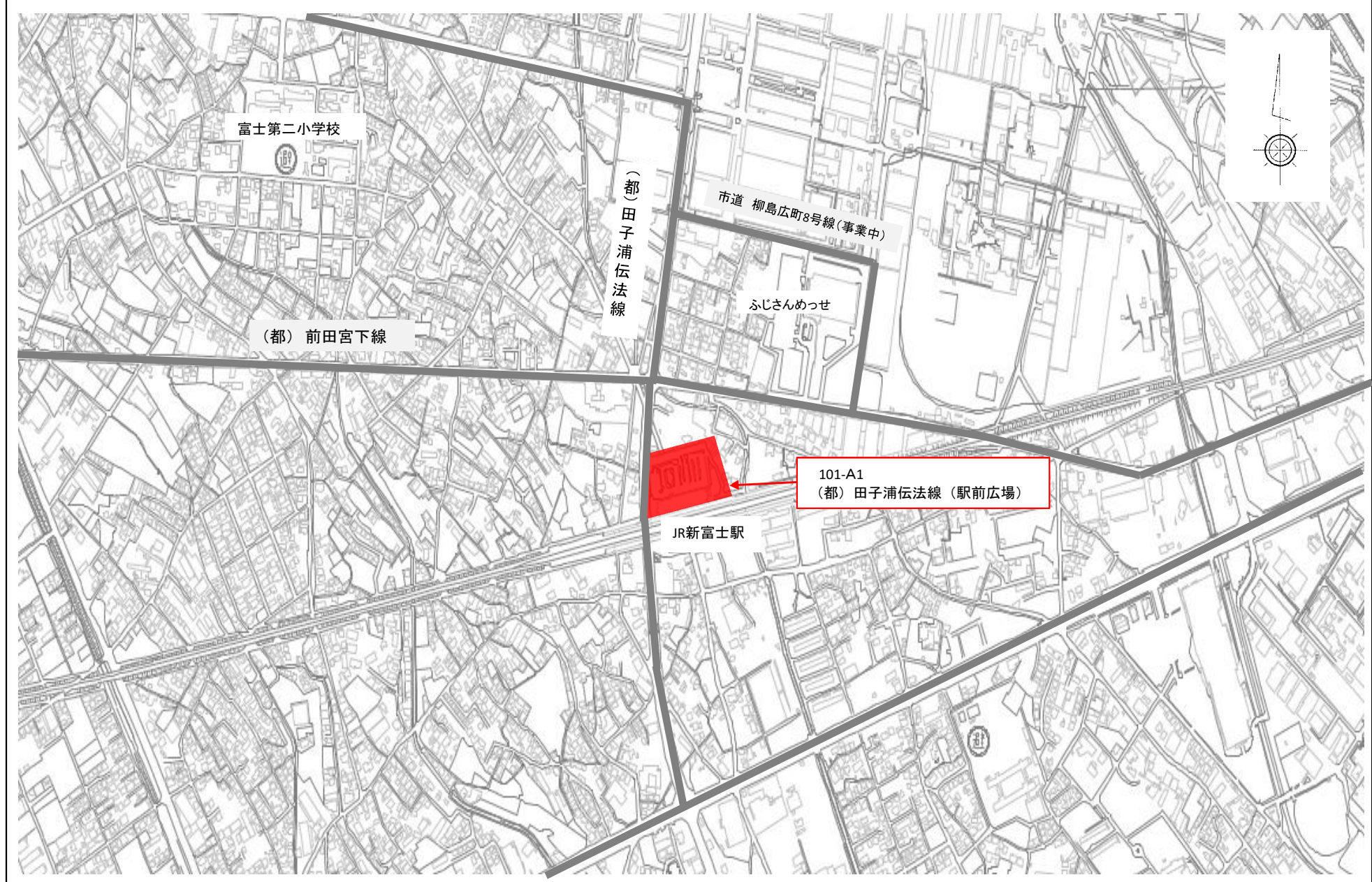
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

社会資本総合整備計画(第1回変更) 参考図面

計画の名称	101 新富士駅における交通結節点の機能向上と快適な駅前広場の創出 (防災・安全)		
計画の期間	平成29年度 ~ 平成30年度 (2年間)	交付対象	富士市



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 101 新富士駅における交通結節点の機能向上と快適な駅前広場の創出(防災・安全)

都道府県名: 富士市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
(該当するものに○) 1 国土形成計画全国計画 2 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 3 社会資本整備重点計画 4 環境基本計画 ⑤その他(富士市総合都市交通戦略・富士市都市計画マスタープラン・新富士駅周辺地区 交通バリアフリー基本構想)	
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○